

Vol.49 July 2011

Shinko Hospital

Medical News

<http://www.shinkohp.or.jp/>

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦

特集 1

放射線センター

- 画像診断と放射線治療を担う神鋼病院の大きな柱 -

ごあいさつ

本年4月1日付で放射線センター長、放射線診断科長に就任いたしました。

放射線センターは画像診断と放射線治療という診療の大きな柱を担っており、病院の診療レベルを左右しかねない部門であることから、責任の大きさを感じています。院内各診療科や地域の先生方と綿密に連携を図りながら、お手伝いをしていきたいと考えています。

近年の機器の進歩はめざましく、画像診断や放射線治療に要求される診療のレベルはますます高くなっています。患者さん1人1人に最適な医療を提供する個別化への対応も進めなければなりません。放射線センターの業務はますます複雑化し、かつ増大しており、スタッフや設備の拡充・整備が急務と考えています。

個人的には長く乳癌の画像診断、特にMRマンモグラフィーの研究や普及、教育に力を入れてきました。当院でも乳腺科の山神部長と協力して、乳癌診療のレベルアップに貢献していく所存です。

微力ながら地域の先生方のお役に立てるよう励みますので、前任者の本山先生に変わらぬ御指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

放射線センターのご紹介

放射線センターは、放射線診断科と放射線治療科から成り、院内各診療科からの依頼を受けて、画像診断ならびに放射線治療を行っています。

また、地域の先生方からも検査・読影依頼(CT・MRI・核医学検査、単純X線写真)、放射線治療のご依頼もお受けしています。

放射線診断科

放射線診断科では、放射線科医師(放射線診断専門医2名、専攻医1名、非常勤専門医2名)、診療放射線技師18名、看護師12名、クラーク5名からなるスタッフが連携を密に取りながら、単純X線写真、CT、MRI、核医学検査、血管造影・インターベンショナル・ラジオロジー(IVR)、消化管造影などの画像診断業務を行っています。

単純X線写真

単純X線写真には富士フィルムメディカル社製CRシステムを使用しています。体型の違いによる影響を最小限にし、再現性の高い鮮明な画像が得られます。マンモグラフィーを除いて、フィルムレスで運用しています。

CT

CTには東芝社製4列マルチスライス

CT装置を2台使用しています。現在CTは16列以上の装置が主流になっています。3次元画像診断や冠動脈のCT angiographyなどへの対応のため、当院でも更新を検討しています。

MRI装置

MRI装置はフィリップス社製の最新の1.5T装置Achievaが2台稼働しています。2010年4月に2台目が導入されました。脳梗塞の早期診断などの緊急検査への対応を進めることができました。予約待ちも短縮され、地域の先生方にもご利用していただきやすくなっています。



PROFILE

Shuichi Monzawa

神鋼病院 放射線センター

センター長 門澤 秀一

千葉大学 昭和60年卒業

乳癌の画像診断の研究や教育を中心に活動中。主な共著書に「Amyloidosis. Medical radiology. Springer-Verlag 2003」、「日本での撮像法の現状. 乳腺MRI実践ガイド文光堂2007」、「MRI撮像法と診断への応用. 乳癌の診断と治療 update 金原出版2009」など。

RI装置

核医学検査では東芝社製RI装置 Symbia E 1台が稼働しています。心筋や骨のシンチグラフィーを中心に利用されています。

骨密度診断装置

2010年4月に骨密度診断装置を更新し、GE社製 PRODIGY-Advance Cを導入しました。骨粗しょう症の診療に役立っています。

血管撮影装置

血管撮影装置は東芝社製バイブレーションシステム1台が稼働しています。IVRでは循環器内科が冠動脈や下肢動脈の狭窄に対するバルーン拡張術、ステント留置術などの治療を行っています。また、脳神経外科では脳梗塞に対する血栓溶解療法、未破裂動脈瘤に対するコイル塞栓術を、放射線科では肝癌に対する肝動脈塞栓術、リザーバー留置術などの治療を行っています。

画像管理システム (PACS)

2008年10月にGE社製医療画像管理システムが導入され、現在画像はすべてデジタル化されサーバーに保存されています。読影室や外来、病棟の端末はサーバーとネットワークで接続され、モニターを使用して閲覧や診断が行われています。

画像データはサーバーからCDに出力可能で、このCDに入れた画像データは地域の先生方のPCや電子カルテで

も読み出してモニターで閲覧することが可能です。

診断レポート

放射線診断科ではCT、MRI、核医学検査、単純X線写真の診断レポートの作成を行っています。検査目的に応じて3次元画像処理や画像データ解析などを加え、診断の精度向上を進めています。疾患によっては非常勤の診断専門医師にもコンサルトし検討を行っています。

地域医療連携

ここに紹介させていただきました検査につきましては、地域の先生方にもご利用いただけます。単純X線写真は予約なしで検査が可能です。原則的に単純X線写真以外の画像診断検査は予約していただいておりますが、緊急を要する場合には可能な限り即日に対応させていただきますので、ご相談ください。

放射線治療科

当科では癌治療の3本柱の1つである放射線治療を担っています。専門医(日本放射線腫瘍学会認定医)1名、診療放射線技師4名(内1名は医学物理士の有資格者)、専任看護師1名、クラーク1名からなるスタッフでチームを組んで診療にあたり、毎日30~40人の患者さんの治療を行っています。

放射線治療装置

神鋼病院では2004年からエレクタ社

製リニアック装置プリサイストリートメントシステムを使用し、X線および電子線による放射線治療を行っています。

高精度放射線治療へのとりくみ

近年の放射線治療機器の進歩はめざましく、病巣部に集中して放射線を照射し、副作用の少ない効果的な治療を行うことができるようになりました。当院でもフィリップス社製治療計画装置 Pinnacle 3を導入し、3次元治療計画を基にした高精度放射線療法を行っています。また、治療期間中は付属の iView GTシステムを用いて照射部位の確認を定期的に行い、精度管理に努めています。

当科では入院病床はありませんので、地域の先生方からのご紹介患者さんにつきましては、通院治療を基本とさせていただきます。

さいごに

放射線センターの設備ならびに業務内容をご紹介します。

当院は地域医療支援病院を目指して、地域の先生方との密接な病診連携を進めております。ご紹介、ご不明の点につきましては、お気軽に地域医療連携室にご相談ください。

地域医療連携室

TEL : 078-261-6739 (直通)
FAX : 078-261-6728 (直通)

第9回神鋼外科フォーラム

- 日時 : 2011年8月18日(木) 19:00~20:00
- 会場 : 神鋼病院3階 講堂 (神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL 078-261-6711)
- 特別講演 : 『乳房MRI診断のポイント』

神鋼病院放射線センター 門澤 秀一センター長
座長 : 神鋼病院 乳腺センター 山神 和彦センター長

大きく変貌しつつある肺高血圧診療の現況

はじめに

かつて、「きわめて予後不良で、短期間で死に至る難治性疾患」としてとらえられてきた肺高血圧症は、様々な治療薬の開発に伴い、「早期の適切な内科的治療によりコントロールし得る慢性疾患」へと、その疾患概念を大きく変えつつあります。

本稿では、肺高血圧症診療の現況をご紹介します。

肺高血圧症患者は実際にいるのでしょうか？

肺高血圧症と聞いて、どのような印象をもたれるでしょうか？「極めて珍しい疾患でめったにお目にかかるものじゃないよ。」というのが一般的な捉え方ではないでしょうか。たしかに特発性肺高血圧症(以前は原発性肺高血圧症と呼ばれていました)は、年間100万人に1人から2人の発症で、しかも未治療の場合3年生存率が35%と予後が極めて不良であることから、日常診療でお目にかかることはあまりありません。

しかし、二次性に肺高血圧症をきたす疾患は、膠原病、門脈圧亢進症、先天性短絡性心疾患(いわゆるアイゼンメンジャー症候群を含める)、血液疾患など数多くあり、その患者総数は特発性肺高血圧症の10倍以上とされています。この数だと、決して患者がいない訳ではなく、「周囲に患者はいるけれども、見えてこない、見逃されている疾患」と言えるでしょう。

肺高血圧症患者はどこに
いるのでしょうか？

患者の主訴は、息切れ、易疲労感、動悸、むくみなど非特異的な症状が主です。これらは、ややもすると「年のせい」や「更年期障害」、「不定愁訴」などと受け取られがちな症状です。したがって、患者は、循環器科、呼吸器科をはじめとして、婦人科や精神科など実に様々な診療科を受診することになります。以前のデータでは症状が出現してから診断に至るまで約7年とされていました。そのため診断が確定した頃には右心不全のコントロールが困難な病期に入っていることも多く、早期の診断が難しい疾患のひとつです。

どのように診断すれば
よいのでしょうか？

症状からの診断は難しいですが、何より重要なのは「肺高血圧症ではなかろうか？」という目で診ることです。「年齢の割に息切れが強い」、「胸部X線像や呼吸機能検査の結果に比して呼吸困難の訴えが強い」などの場合は積極的に疑うべきでしょう。

また肺高血圧症発症のリスクの高い例、すなわち膠原病患者(特に強皮症、混合性結合組織病、全身性エリテマトーデスなど)、肝臓疾患(門脈圧亢進症)、肺高血圧の家族歴のある例、などには、積極的にスクリーニング検査をするべきです。

一般検査では心電図で右心負荷所見、胸部X線で左第2弓の突出などが見られることがありますが、これらの所見が見られたときにはすでに進行例です。

肺高血圧症を診断するためのスクリーニングとして最も有効な検査は心エコー図検査です。心エコー図検査により、三尖弁逆流波形から肺動脈圧を推定できることに加え、右心の負荷の評価や二次性肺高血圧の原因を検索することが可能となります。

これらの検査で肺高血圧症の疑いが強くなれば、重症度の判定、原因疾患の同定の目的で、換気・血流シンチや右心カテーテル検査をはじめとする精密検査を行います。これらは、循環器の中でも肺高血圧症診療を専門とする施設で行うことが推奨されます。



Noriaki Emoto

PROFILE

神鋼病院 循環器内科

医師 江本 憲昭

神戸大学 昭和62年卒業

神戸大学大学院医学研究科(博士課程)平成8年修了

・医学博士 ・日本内科学会認定内科医

・日本循環器学会認定循環器専門医

・日本高血圧学会専門医 ・臨床修練指導医

・日本循環器学会 ・日本高血圧学会(評議員)

・日本内科学会 ・日本医学教育学会

どんな治療法があるのでしょうか？

「肺高血圧の患者はいない訳じゃないけど、診断をつけたところで治療法もないし、経過を見るしかないじゃない。」という声を聞くこともあります。

しかし、最近になって画期的な治療薬が次々に開発され、この5年間で肺高血圧治療法は激変しました。

軽症から中等症の症例に対しては、内服薬のエンドセリン受容体拮抗薬(トラクリア、ヴォリブリス)やフォスフォジエステラーゼ阻害薬(アドシルカ、レバチオ:いわゆる男性性機能不全EDの治療薬として用いられるバイアグラと同成

分)が使用され、重症例では持続静注薬のプロスタサイクリン製剤(フローラン)が用いられています。これらの薬剤により患者の自覚症状のみならず生命予後が大幅に改善されました。

とは言うものの、進行例では相変わらず予後が悪いため、経験豊かな専門医によって早期に適切な治療を行うことが大変重要です。

さいごに

当院では、本年4月より循環器内科に肺高血圧症専門外来を新規に開設いたしました。肺高血圧症は診断や薬剤の選択に専門的な知識や経験を要し、

肺高血圧症専門外来

毎週月曜日・10～13時

また難病でかつ薬剤が非常に高価なため、特定疾患申請などの公的助成制度の手続きが必要となります。

「もしかして肺高血圧症ではなかるうか？」という症例がございましたら、地域連携室を通じてご紹介いただければ、診断を確定し、治療の導入から特定疾患の申請まで包括的な肺高血圧診療をさせていただきます。いつでもお気軽にお問い合わせ下さい。

+ Shinko Hospital Infomation +

神戸難治性疼痛症例検討会 特別講演会

- 日時：2011年7月15日(金) 19:00～20:00
- 会場：神鋼病院3階 講堂
(神戸市中央区脇浜町1-4-47 Tel. 078-261-6711)
- 定員：50名

特別講演『神経障害性疼痛に対する漢方治療』

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
麻酔科学・ペインクリニック科長・教授 光畑 裕正 先生

座長：神鋼病院 整形外科 科長 武富 雅則先生

- ・準備の都合、事前に当院地域医療連携室(TEL078-261-6739)までお知らせください。
- ・軽食をご用意いたしております。
- ・日本整形外科学会の専門医・認定医の更新に必要な研修1単位 ※1)整形外科基礎学 8)神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む) 7)脊椎椎髄疾患も選択可能
- ・日医生涯教育認定単位

神鋼病院理念

地域医療に貢献し、
信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。